

神戸市外国語大学 学術情報リポジトリ

cover, title page, Flyer, contents, section title,
group photo, colophon, back cover : Journal of
Research Institute Vol.55 : Current Issues in
Modern Slavic Aspectology

メタデータ	言語: jpn
	出版者:
	公開日: 2016-12-22
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
	所属:
URL	https://kobe-cufs.repo.nii.ac.jp/records/2098

This work is licensed under a Creative Commons
Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0
International License.





神戸市外国語大学
研究年報

2016
第 **55** 号

ISSN 0454-1073

現代スラヴ・アспект研究の動向

まえがき 活動報告 金子 百合子

Section I Aspect in Languages of the World – Аспект в языках мира

7

類型論におけるアспект論
ヴィクトル・S・フラコフスキー

15

通言語的視点からのアспект
ヴラジーミル・A・プルンギャン

Section II Lexical Aspect of Verbs – Лексический аспект глаголов

29

動詞の語彙的アспект
エレナ・V・ゴルボヴァ

43

ロシア語のアспектの語彙的および構成的要素
セルゲイ・G・タテヴォーソフ

Section III Вид / Aspect in Slavic Languages – Вид / Аспект в славянских языках

57

マースロフのアспект理論における主要概念
エレナ・V・パードウチェヴァ

73

動詞の体のスラヴ諸語間対照研究
—スラヴ語を背景にしたロシア語の体—
エレナ・V・ペトルーヒナ

あとがき

謝辞



Kobe City University of Foreign Studies

Journal of Research Institute

2016
Vol. **55**



Research Institute of Foreign Studies
Kobe City University of Foreign Studies

現代スラヴ・アспект研究の動向

Current Issues in Modern Slavic Aspectology

2015. **11.16** ^{M 10:00}
_{O 17:20}

神戸市外国語大学 三木記念会館

〒651-2187 神戸市西区学園東町9-1 TEL. 078-794-8161

定員 50名先着順(事前申込み要)

参加費 500円

言語 ロシア語、英語 (日本語通訳なし)

プログラム

9:30 開場・受付

10:00-10:15 開会の挨拶 中澤英彦 (東京外国語大学 名誉教授)

開催校挨拶 船山仲他 (神戸市外国語大学 学長)

10:15-11:55 セクションⅠ 世界の言語とアспект

司会：V. S. フラコフスキー (ロシア科学アカデミー言語学研究所 研究室長)

講師：V. A. ブルンギャン (ロシア科学アカデミーロシア語研究所 研究部門副所長) 英語

11:55-13:30 昼食

13:30-15:10 セクションⅡ 動詞の語彙的アспект

司会：E. V. ゴルボヴァ (サンクトペテルブルグ国立大学 教授)

講師：S. G. タテヴォーソフ (M. V. ロモノーソフ名称モスクワ国立大学 教授) 英語

15:10-15:30 コーヒーブレイク

15:30-17:10 セクションⅢ スラヴ語の体／アспект

司会：E. V. パドゥチェヴァ (ロシア科学アカデミー全ロシア科学技術情報研究所 主席研究員)

講師：E. V. ペトルーヒナ (M. V. ロモノーソフ名称モスクワ国立大学 教授) ロシア語

17:10-17:20 閉会の挨拶 岡本崇男 (神戸市外国語大学 副学長)

18:30-20:30 懇親会 (会場:三宮ターミナルホテル 参加費:5000円/学生:2000円)

Check 各セッションの最後にあるパネルトークには上記の研究者の他、以下の専門家の参加が予定されています。

A.A. Barentsen (Univ. of Amsterdam, the Netherlands), R. Benacchio (Univ. of Padova, Italy), H.R. Mehlig (Kiel Univ., Germany), H. Tömmola (Univ. of Tampere, Finland), N. Zorikhina Nilsson (Stockholm Univ., Sweden)

お申込み・お問合せ

参加ご希望の方はお名前・ご所属・懇親会参加の有無を明記の上、セミナー事務局金子までメールでお申込み下さい。

神戸市外国語大学 金子百合子 ykaneko@inst.kobe-cufs.ac.jp 申込期限 2015/8/20

科研費
KAKENHI





Актуальные Вопросы Современной Славянской Аспектологии Current Issues in Modern Slavic Aspectology

2015. **11.16** ^{10:00}_{17:20}
(Mon.-Пон.)

at **Kobe City University of Foreign Studies
Miki Memorial Hall**

Мемориальный Дворец Культуры им. Мики Университета
Иностранных Языков г. Кобэ
9-1, Gakuen-Higashi-Machi, Nishi-ku, Kobe, 651-2187, tel. 078-794-8161

LIMIT NUMBER 50 (Registration required)

количество мест - 50 (запись на семинар обязательна)

ADMISSION FEE 500 JPY

стоимость входа - 500 иэн

WORKING LANGUAGES Russian & English (No Interpretation)

языки - русский и английский (нет переводов)

PROGRAM программа

9:30 Registraion - Регистрация

10:00-10:15 Opening remarks - Открытие Семинара

NAKAZAWA Hidehiko (Professor emeritus, Tokyo Univ. of Foreign Studies)

НАКАДЗАВА Хидэхико (Почетный профессор, Токийский Ун-т иностранных языков)

Welcome speech - Приветственная речь

FUNAYAMA Chuta (The president, Kobe City Univ. of Foreign Studies)

ФУНАЯМА Тюта (Ректор, Ун-т иностранных языков г. Кобэ)

10:15-11:55 Section I Aspect in languages of the world - Секция I Аспект в языках мира

Chair: Viktor S. KHRAKOVSKII (Laboratory chief, Institute for Linguistic Studies, RAS)

Speaker: Vladimir A. PLUNGIAN (Deputy director, Vinogradov Institute of Russian Language, RAS) **Eng. - англ. яз.**

Председатель: Виктор С. ХРАКОВСКИЙ (Заведующий лабораторией, ИЛИ РАН) Докладчик: Владимир А. ПЛУНГЯН (Замдиректора, ИРЯ РАН)

11:55-13:30 Lunch - Обед

13:30-15:10 Section II Lexical aspect of verbs - Секция II Лексический аспект глаголов

Chair: Elena V. GORBOVA (Professor, Saint Petersburg State University)

Speaker: Sergey G. TATEVOSOV (Professor, Lomonosov Moscow State University) **Eng. - англ. яз.**

Председатель: Елена В. ГОРБОВА (Профессор, СПбГУ) Докладчик: Сергей Г. ТАТЕВОСОВ (Профессор, МГУ)

15:10-15:30 Coffee break - Кофе-брейк

15:30-17:10 Section III Vid/Aspect in Slavic languages - Секция III Вид/Аспект в славянских языках

Chair: Elena V. PADUCHEVA (Principal researcher, All-Russian Institute of Scientific and Technical Information, RAS)

Speaker: Elena V. PETRUKHINA (Professor, Lomonosov Moscow State University) **Rus. - рус. яз.**

Председатель: Елена В. ПАДУЧЕВА (Главный научный сотрудник, ВИНТИ РАН) Докладчик: Елена В. ПЕТРУХИНА (Профессор, МГУ)

17:10-17:20 Closing remarks - Закрытие Семинара

OKAMOTO Takao (The vice-president, Kobe City Univ. of Foreign Studies)

ОКАМОТО Такао (Проректор, Ун-т иностранных языков г. Кобэ)

18:30-20:30 Buffet party - Фуршет (venue-место: Sannomiya Terminal Hotel). Fee: 5000JPY/students 2000JPY)

Registration & Contact
запись и контакт

Please register for the seminar by emailing to the adress below with your name, affiliation, attendance at the buffet party.
Для записи просим выслать по электронной почте сообщение с указанием: ФИО, место работы/учебы, участие в фуршете.

ykaneko@inst.kobe-cufs.ac.jp **Deadline - Спок 2015/08/20**

科研費
KAKENHI



Journal of Research Institute, Vol. 55, 2016

Current Issues in Modern Slavic Aspectology

Edited by Yuriko Kaneko

Research Institute of Foreign Studies
Kobe City University of Foreign Studies
2016

目次

まえがき：セミナー活動報告

金子 百合子・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

Section I

Aspect in Languages of the World – Аспект в языках мира

АСПЕКТОЛОГИЯ В ТИПОЛОГИИ／類型論におけるアスペクト論

Виктор С. Храковский (ヴィクトル・S・フラコフスキー)・・・・・・・・・・・・・7

ASPECT CROSS-LINGUISTICALLY／通言語的視点からのアスペクト

Vladimir A. Plungian (ヴラジーミル・A・プルンギャン)・・・・・・・・・・・・・15

Section II

Lexical Aspect of Verbs – Лексический аспект глаголов

ЛЕКСИЧЕСКИЙ ВИД ГЛАГОЛА／動詞の語彙的アスペクト

Елена В. Горбова (エレーナ・V・ゴルボヴァ)・・・・・・・・・・・・・29

LEXICAL AND COMPOSITIONAL INGREDIENTS OF RUSSIAN ASPECT

／ロシア語のアスペクトの語彙的および構成的要素

Sergei G. Tatevosov (セルゲイ・G・タテヴォーソフ)・・・・・・・・・・・・・43

Section III

Vid / Aspect in Slavic Languages – Вид / Аспект в славянских языках

ОСНОВНЫЕ ПОНЯТИЯ В АСПЕКТУАЛЬНОЙ КОНЦЕПЦИИ

Ю. С. МАСЛОВА／Ju.S. マースロフのアスペクト理論における主要概念

Елена В. Падучева (エレーナ・V・パードゥチェヴァ)・・・・・・・・・・・・・57

СОПОСТАВИТЕЛЬНОЕ ИЗУЧЕНИЕ ГЛАГОЛЬНОГО ВИДА В

СЛАВЯНСКИХ ЯЗЫКАХ: РУССКИЙ ВИД НА СЛАВЯНСКОМ ФОНЕ／

動詞の体のスラヴ諸語間対照研究～スラヴ語を背景にしたロシア語の体～

Елена В. Петрухина (エレーナ・V・ペトルーヒナ)・・・・・・・・・・・・・73

あとがき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・87

謝辞・・・88

る研究者がロシア語（スラヴ語）の体の特徴をどのように捉えているか、そして他言語との比較においてどのようなアプローチ法を採用し、どのような成果を挙げているか、体／アспект研究がとりわけスラヴ語圏で今日どのような展開を見せているか、といった点を直接学ぶ機会があれば・・・、と筆者が夢想しはじめたのが 2013 年、今から二年前の話である。

なぜ、2 年か。それは 2013 年 6 月にスウェーデンのヨーテボリ大学で国際スラヴィスト会議アспект研究部会が主催する第 4 回国際アспект会議が開催され、そこで次の 2015 年第 5 回会議の開催地が京都に決定したからである（京都産業大学 2016 年 11 月 12～15 日）。国際会議の準備の期間は瞬く間に過ぎ、その間ウクライナ問題、ロシアに対する経済制裁、ルーブルの下落という、京都会議の開催さえ危ぶまれる時期を乗り越え、世界中より錚々たるアспект研究者が来日することになった。この幸運な機会を利用し、国際会議終了後に神戸市外国語大学を会場に小規模な国際アспектセミナーを企画するという夢はついに具体的な形を取り始めた。

当セミナーに関しては東京外国語大学を拠点に活動するロシア語研究会「木二会」と相談し、当会のメンバーからなる組織委員会を作り、具体的な計画を詰めていった。セミナーの目的は、アспект研究の各分野の指導的立場にある研究者から、現在のスラヴ・アспект研究の動向、アспектと関連した理論的、類型学的、対照言語学的諸問題の在り処を、最新の研究成果も交えて、日本の言語学領域の研究者とりわけ若手研究者や院生に分かりやすく講義してもらい、それによってアспект研究における着眼点と多様なアプローチ法について見識を深めることに置いた。尚、本報告書における講師の講演内容の和訳も木二会メンバーによるものである。

セミナー開催

そうして 2015 年 11 月 16（月）ついに、ロシア語研究会「木二会」主催、神戸市外国語大学共催、日本ロシア文学会協賛のもと、国際セミナー「現代スラヴ・アспект研究の動向」は本学の三木記念会館を会場に幕を開けた。

当日のプログラムについて簡単に述べる。

まず、主催団体の「木二会」を代表して、東京外国語大学名誉教授の中澤英彦氏より開会の挨拶を頂き、次に神戸市外国語大学の船山仲他学長より開催校の挨拶を頂いた。

目玉のセミナーはセクションを三部に分けて行った。各セクションは司会者役の講師による、テーマ導入を兼ねた研究史概略や主要な着眼点の整理といった一般的な傾向性をもつ講義の後、具体的な問題により深く切り

込む形で別の講師による基調講演があり、その後、パネリストを中心にした質疑応答という流れで進められた。

「世界の言語とアスペクト」と名付けられたセクションⅠでは、ロシアを代表する類型論研究者であるヴィクトル・フラコフスキー氏（ロシア科学アカデミー言語学研究所・研究室長）に類型論的見地より現在のアスペクト研究の課題を論じて頂いた。課題のひとつが地球上のあらゆる言語に存在するアスペクト意味の記述を可能にする“普遍的な文法意味セット”の構築であったが、続いて登壇されたウラジーミル・プルンギャン氏（ロシア科学アカデミーロシア語研究所・副所長）はまさに言語横断的な「普遍的な文法項目目録 Universal Grammatical Inventory」と「普遍的意味項目目録 Universal Semantic Inventory」の作成に精力的に取り組んでおられる。講演ではそのような目録の言語類型学的意義とそのロシア語（スラヴ語）のアスペクト意味体系への適用の場合について講義をして頂いた。

セクションⅡは「動詞の語彙的アスペクト」をテーマとする。ここでは動詞の語彙的アスペクトと呼ばれる動詞のアクショナリティがテーマとなった。スペイン語とロシア語の対照言語学研究を進めるエレナ・ゴルボヴァ氏（サンクトペテルブルク国立大学文学部一般言語学科・教授）から、動詞語彙のアクショナリティの研究史を講義頂いた。その後、アクショナリティの類型論を専門とするセルゲイ・タテヴォーソフ氏（ロモノーソフ名称モスクワ国立大学文学部理論応用言語学科・教授）より、部分理論や事象意味論などの理論的枠組みから動詞叙述における事象構造にアプローチして頂いた。

そして最後のセクションⅢは「スラヴ語の体／アスペクト」である。セクションの口火を切って下さったエレナ・パドゥチェヴァ氏（ロシア科学アカデミー全ロシア科学技術情報研究所・主席研究員）はロシア語（スラヴ語）のアスペクト体系の一つの特徴である「体ペア」について「マースロフ基準」の有効性を改めて述べるとともに、完了体のカテゴリー的な意味が「回顧的視点」にあることを指摘された。続いて、登壇したエレナ・ペトルーヒナ氏（ロモノーソフ名称モスクワ国立大学文学部ロシア語学科・教授）は、スラヴ諸語間に見られるアスペクト体系の性格における相似点と、具体的用法における相違点を特にチェコ語を中心に鮮やかに示された。

各セクションで取り上げられたテーマはいずれも、言語におけるアスペクト・カテゴリーの本質を探り理解を深めるためには避けては通れない、アスペクト研究の根幹を成す主要テーマである。同時に、これまで多く語られていながらも、未だ意見の相違の方が一致する見解よりも多いテーマで

ある。講演の後は、様々な視点から議論を深めてもらうため、パネリストから講師へ質問を投げかけて頂いた。パネリストのお名前を名字のアルファベット順に挙げる。アドリアン・バレンツェン氏（アムステルダム大学、オランダ）、ロザンナ・ベナッキオ氏（パドヴァ大学、イタリア）、ハンス＝ロバート・メーリッグ氏（キール大学、ドイツ）、ハンヌ・トモラ氏（タンペレ大学、フィンランド）、ナデジュダ・ゾリヒナ＝ニルソン氏（ストックホルム大学、スウェーデン）である。いずれのパネリストの方もまた、多様な観点から体／アスペクトの問題に取り組んでおられる、ヨーロッパを代表する研究者陣である。パネリストからの鋭い質問は、講演内容に関する確認点や補足、あるいは講師の理論的枠組みにおける具体例の解釈などに関するもので、議論は白熱した。聴衆の中には京都の国際会議からそのまま神戸まで来られ、それこそ関空からの帰国便に間に合うぎりぎりまでセミナー（あるいはその後の懇親会）に参加された海外の研究者もいらっしやった。彼らもまた、京都での国際会議の場さながらに、質疑応答を盛り上げて下さった。

時間的な制約もある中、心ゆくまで議論し続けるわけにもいかず、セミナーは神戸市外国語大学副学長でもあるロシア学科教授の岡本崇男氏より閉会の挨拶を頂くことで、興奮冷めやらぬうちに幕を閉じた。

上述のことから、どれだけ贅沢なセミナーであったかが伺えるであろう。まさに千載一遇の機会であった。発表者（講演者、パネリスト）と聴衆を合わせて、セミナー参加者は54名（12カ国）を数える。平日の月曜日にも関わらず、遠くから日本のロシア語研究者の方々も参集下さった。関西を中心に参加して下さいた多くの大学院生、学部生にとっては、理解の容易い講演ではなかったかもしれないが、議論の中でアスペクト研究における問題の在り処が鮮明になり、対立する主張の根拠を確認できたことは、彼らにとって大きな学びの場であったと同時に、研究者たちの熱気あふれる学問的議論の場に立ち会う機会を持てたことは幸運なことであった。

多くの方々のご協力とご好意がなければ、このセミナーを成功させることは叶わなかった。感謝の気持ちを一言では到底言い表せないので、謝辞は本書の最後に改めて申し上げさせていただく。

Section I / Секция I

Aspect in Languages of the World

Аспект в языках мира

世界の言語とアспект

Section II / Секция II

Lexical Aspect of Verbs

Лексический аспект глаголов

動詞の語彙的アスペクト

Section III / Секция III

Vid / Aspect in Slavic Languages

Вид / Аспект в славянских языках

スラヴ語の体／アспект



Authors

- Victor S. XRAKOVSKY / В. С. ХРАКОВСКИЙ (ヴィクトル・S・フラコフスキー)
Institute for Linguistic Studies, RAS, St. Petersburg, Russia
ロシア科学アカデミー言語学研究所 研究室長 (サンクトペテルブルク、ロシア)
- Vladimir A. PLUNGIAN / В. А. ПЛУНГИАН (ヴラヂーミル・A・プルンギヤーン)
Vinogradov Institute of Russian Language, RAS, Moscow, Russia
ロシア科学アカデミーヴィノグラードフ記念ロシア語研究所 研究部門副所長
(モスクワ、ロシア)
- Elena V. GORBOVA / Е. В. ГОРБОВА (エレーナ・V・ゴルボヴァ)
Saint Petersburg State University, St. Petersburg, Russia
サンクトペテルブルク国立大学 教授 (サンクトペテルブルク、ロシア)
- Sergei G. TATEVOSOV / С. Г. ТАТЕВОСОВ (セルゲイ・G・タテヴォーソフ)
Lomonosov Moscow State University, Moscow, Russia
ロモノーソフ記念国立モスクワ大学 教授 (モスクワ、ロシア)
- Elena V. PADUCHEVA / Е. В. ПАДУЧЕВА (エレーナ・V・パードゥチェヴァ)
All-Russian Institute of Scientific and Technical Information, RAS, Moscow, Russia
ロシア科学アカデミー全ロシア科学技術情報研究所 主席研究員 (モスクワ、ロシア)
- Elena V. PETRUKHINA / Е. В. ПЕТРУХИНА (エレーナ・V・ペトルーヒナ)
Lomonosov Moscow State University, Moscow, Russia
ロモノーソフ名称モスクワ国立大学 教授 (モスクワ、ロシア)

研究年報第55号／ Journal of Research Institute, Vol.55

Current Issues in Modern Slavic Aspectology

編 者：金子百合子

E d i t o r : Yuriko KANEKO

発 行 日：2016年12月22日

Date of Print : December 22, 2016

発 行 所：神戸市西区学園東町9丁目1

神戸市外国語大学外国学研究所

Research Institute of Foreign Studies, Kobe City University of Foreign Studies
9-1, Gakuen-Higashimachi, Nishi-ku, Kobe, Hyogo, 651-2187, Japan

印 刷 所：株式会社 興文社

神戸市西区小山3丁目11-6

P r i n t e r : K O U B U N S H A P R I N T I N G C O . , L T D .

3-11-6, Koyama, Nishi-ku, Kobe, Hyogo, 651-2146, Japan



Kobe City University of Foreign Studies

Journal of Research Institute

2016
Vol. 55

Current Issues in Modern Slavic Aspectology Актуальные Вопросы Современной Славянской Аспектологии

Preface Yuriko KANEKO

Section I Aspect in Languages of the World – Аспект в языках мира

7

АСПЕКТОЛОГИЯ В ТИПОЛОГИИ

Виктор С. Храковский

15

ASPECT CROSS-LINGUISTICALLY

Vladimir A. Plungian

Section II Lexical Aspect of Verbs – Лексический аспект глаголов

29

ЛЕКСИЧЕСКИЙ ВИД ГЛАГОЛА

Елена В. Горбова

43

LEXICAL AND COMPOSITIONAL INGREDIENTS OF RUSSIAN ASPECT

Sergei G. Tatevosov

Section III Vid / Aspect in Slavic Languages – Вид / Аспект в славянских языках

57

ОСНОВНЫЕ ПОНЯТИЯ В АСПЕКТУАЛЬНОЙ КОНЦЕПЦИИ

Ю. С. МАСЛОВА

Елена В. Падучева

73

СОПОСТАВИТЕЛЬНОЕ ИЗУЧЕНИЕ ГЛАГОЛЬНОГО ВИДА В СЛАВЯНСКИХ ЯЗЫКАХ:
РУССКИЙ ВИД НА СЛАВЯНСКОМ ФОНЕ

Елена В. Петрухина

Afterword

Acknowledgment

